

目的 計画 目標 (P)

平成27年度に策定した葛城市生活交通ネットワーク実施計画において、市の公共交通の現状や住民ニーズを把握し、葛城市に適した生活交通ネットワークの再編に取り組んでいる。

平成28年11月3日より『ぐるっとかつらぎ』と称し、幹線道路を運行するルートを環状線ルート、その支線を運行するルートをミニバスルートとして再編し、現在に至っている。

前年度の利用者数は、約87,200人/日であり、利便性の向上と利用促進を推進することにより、さらなる利用者数の増加を目標とした。

概要図・参考資料

人口:37,333人(平成30年4月1日現在)
面積:33.72平方キロメートル
合併状況:平成16年10月1日
高齢化率:27.47%(平成31年4月1日現在の65歳以上人口の比率)

系統数:4
運行回数:外回り・内回り各5便

参考資料:葛城市コミュニティバス時刻表(別添)

- 協議会等開催状況(平成30・31年度)
- 第17回協議会(平成30年6月11日開催)
地域内フィーダ系統確保維持計画について
 - 第18回協議会(平成30年8月23日開催)
公共交通に関するアンケート調査について
 - 第19回協議会(平成30年12月21日開催)
運行形態の見直しについて
 - 第20回協議会(平成31年3月26日開催)
葛城市生活交通ネットワーク実施計画について
 - 第21回協議会(令和元年6月14日開催)
地域内フィーダ系統確保維持計画について
 - 第22回協議会(令和元年8月9日開催)
新形態の運行概要について



具体的取り組み (D)

- ①平成29年4月からバス現在地情報システム(バスロケーションシステム)を導入し、利便性の向上を図っている。
- ②平成29年8月から検索サイト「ジョルダン」「ナビタイム」に時刻表の掲示を行っている。
- ③市内飲食店等や當麻寺等とタイアップし、「ぐるっとかつらぎ」協力企業を募り、利用促進を図った。
- ④広報誌にコミュニティバスに関する特集記事を掲載するなど、広報活動を強化した。

取組みに対する評価 (C)

「具体的な取組」の実施を通じて、前年度の1日当たりの利用者数からのさらなる増加を目標としていたが、広報誌にコミュニティバスに関する特集記事を掲載するなど、広報活動を強化したこともあり、1日当たりの平均利用者は、前年度の87,200人から94,670人へと増加する結果となった。

自己評価から得られた課題、対応 (A)

平成30年9月に実施した「葛城市公共交通に関するアンケート調査」の結果を基に、運行ルートや運行形態を見直し、令和元年10月から実証運行を開始している。

今後も、さらなる利便性の向上と利用促進を図り、利用者の増加に努めるため、利用者の声を聞きながら、より一層の改善に努める。

アピールポイント、特に工夫した点など

バス現在地情報システム(バスロケーションシステム)や時刻表等の検索サイトである「ジョルダン」「ナビタイム」など、インターネットを通じたサービスを継続し、市の広報誌やホームページ等での周知を重ねた。